

春日区地域協議会(観光分科会)自主審議工程表

別紙1

作成: 2022年4月 6日
改訂: 2022年5月10日

	令和3年度						令和4年度											
	第3Q(10月~12月)			第4Q(1月~3月)			第1Q(4月~6月)			第2Q(7月~9月)			第3Q(10月~12月)			第4Q(1月~3月)		
1. 分科会開催	10/2	11/2	12/1	1/1	2/14	3/22	4/19	5/17	6/21	7/19	8/16	9/20	10/1	11/1	12/2	1/17	2/21	3/21
2. 資料研修	資料から春日山城跡の保存状況学習						市文化行政課に学びたい事: ①戦国時代の上杉謙信の足跡 ②これまでの春日山城跡の保存管理状況 ③春日山城跡の発掘と史跡の活用状況 ④地元も楽しめるフィールドミュージアム春日山城の見所											
3. フィールド研修	フィールドミュージアム構想						専門家からの講義											
3. フィールド研修	テキスト: ①春日山城跡における今後の保存管理及び活用について ②上越市の観光の現状と課題を踏まえた今後の方向性について						春日山城跡、監物堀、御館跡周辺視察											
3. フィールド研修							過去の観光振興施策の現地視察											
3. フィールド研修							春日山支城、砦、長野県松代城等外部視察											
4. 関係団体との交流							春日山城跡保存整備促進協議会と交流会											
4. 関係団体との交流							春日区町内会長連絡協議会と交流会											
4. 関係団体との交流							上越市観光コンベンション協会と交流会											
4. 関係団体との交流							金谷区地域協議会と交流会											
5. 春日山観光振興の具体策立案							上越エリアを含む春日山通年観光5年マスタープラン作成: 上越地域観光連携宿泊プラン→上越市内日帰り観光→お城巡り→春日山周辺観光(謙信公祭を新潟県規模に、春日山フラワーガーデン化、春日山楽市楽座創設、謙信創作劇定期開催、春日山グルメ街連携、観光物産館移転、謙信館建設等)						春日山周辺観光振興策まとめ					
5. 春日山観光振興の具体策立案							春日山周辺魅力発見公開ツアー開催						関係団体と調整					
5. 春日山観光振興の具体策立案							春日山周辺観光振興の具体策立案、内容検討、試行						市長への意見書まとめ					
6. 備考	<ul style="list-style-type: none"> 各種資料や経験から学んだこと ①春日山城は図面がなく復元はほぼ不可能。 ②城の保存エリアの発掘が進まず、監物堀等の復元が部分的で十分活用されていない。 ③保存地域の草刈りなど維持が大変。 ④春日山観光振興策を立案するが実施事例少ない。 ⑤上越市から県や国への働きかけがなく消極的。 ⑥春日山観光振興に熱意のあるキーマンがいない。 ⑦過去のNHK大河ドラマで観光客が増加し交通渋滞などで地元が迷惑を被った。 ⑧謙信公祭が春日山周辺に限定されている。過去に直江津や高田まで武者隊が行った実績がある。 						<p>春日山周辺観光振興策(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①道路、駐車場のインフラ整備をし、観光客が増えることでの交通渋滞防止を図る。 ②物産センター、謙信館、小川未明文学館の設置で通年観光の拠点に。 ③従来の春日山ウォーキングマップ改訂と仮想空間「戦国春日山城」をスマホで。 ④上越地域主要観光拠点と連携する周遊マップ作製、スタンプカードで景品提供。 ⑤「塩送りサブレ、プリン」など名産品開発。(前期分科会は青苧入りかまぼこ) ⑥春日山城の復元が不可能であれば、四季を通じて草花を楽しめるフラワーガーデン化し、地元の市民も楽しめる謙信春日山フラワーガーデン「KKG」をアピールする。 春日山にカキツバタや紫陽花、山桜、ササユリを植えてフラワーガーデン化。 ⑦春日山神社に甲冑姿の武者を配置して一緒に記念撮影や見所案内をする。 ⑧観光客が春日山周辺で楽しい食事ができるグルメツアー網の整備を。 ⑩春日山城下に栄えた商業都市を復元し春日山楽市楽座を想像し創設する。 											

地域自治推進プロジェクト及び令和 4 年度の地域協議会の取組等について

◎ 令和 4 年度に地域協議会による取り組みをお願いする事項

地域の活力向上を目指して、次の 2 点をお願いします。

- ① 「地域を元気にするために必要な提案事業（元気事業）の提案」や「意見書の提出」、「地域内での課題解決」に向けて、自主的審議による議論を進めていただく。
- ② 「地域活性化の方向性の作成」に着手いただく。

1 市長公約プロジェクト「地域自治推進プロジェクト」について（説明事項）

- ・ 地域自治推進プロジェクトの概要 資料 3-1

2 令和 4 年度に地域協議会から取り組んでいただきたい事項（お願い事項）

- ① 取組の進め方 資料 3-2
- ② 自主的審議について 資料 3-3、4、5
- ③ 「地域活性化の方向性」の作成 資料 3-6

配布資料

- ・ 資料 3-1 公約プロジェクト 1 地域自治推進プロジェクト
- ・ 資料 3-2 【令和 4 年度】地域協議会から取り組んでいただきたい事項
- ・ 資料 3-3 令和 4 年度の自主的審議の流れ
- ・ 資料 3-4 「地域を元気にするために必要な提案事業（元気事業）」の手順例
- ・ 資料 3-5 平成 30 年度頸城区地域協議会から提案のあった事業提案書（写し）
- ・ 資料 3-6 各地域協議会による「地域活性化の方向性」の作成について

・地域のことは地域で決めて、地域で実行する地域自治の仕組みの強化を目指す。

《現状に対する課題認識》

・「住民同士の支え合い」や「活気を生み出す」ような自治区単位での自主的な活動がなかなか広がらない

その要因 ⇒ 活動を企画・実行する人材の確保が困難
⇒ 地域自治区制度の下で、地域の課題を拾い上げ、地域や市に対して解決策の提案まで到達する事例が限定的

《課題解決の方向性》

・地域と市が一緒になって話し合い、市内各所の多様な資源をいかしながら地域の活力を高めていく取組を実現



《検討の観点》

- ・どうやって「地域のことを地域で実行できる取組」を生み出していくか
- ・どうやって「地域の人材」を取り込むか
- ・どうやって「地域のニーズ」を把握していくか

《検討の展開順序》

- ・現状のまま推移した場合の課題の深掘り
- ・合併後20年を迎えようとする今、20年後の将来を見据えた「理想的な姿」の考察
- ・実現するためのロードマップの策定

※現状の運用も含め、しっかりと時間をかけた議論・検討

※制度を運用していくことを見据えた丁寧な制度設計と合意形成

《検討事項・論点例》

- ・地域自治の活動を活性化する予算
⇒【事業の検討・提案方法、評価方法】
- ・地域の活動団体 ⇒【公益的活動の充実】
- ・地域協議会 ⇒【役割の再整理】
- ・総合事務所、まちづくりセンター
⇒【地域との関わり方】
- ・区域 ⇒【設定の考え方の再整理】

《検討方法》

- ・総合事務所、まちづくりセンターを含む庁内での協議
- ・地域協議会や住民組織など活動団体へのヒアリングと協議
- ・他自治体の事例調査

《最終目標》

地域に住み続けることに誇りと愛着を持ち、市民生活の満足感の高揚や質の向上が図られる取組を生み出した状態

※スピード感の異なる検討課題に対しては、緊急性に応じて柔軟に対応

地域の活力向上を目指して、主に次の2点をお願いします。

- ①「元気事業の提案」や「意見書の提出」、「地域内での課題解決」に向けて、自主的審議事項による議論を進めていただく。
- ②「地域活性化の方向性の作成」に着手いただく。

【スケジュール】

年度	令和4年度				令和5年度	令和6年度以降
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
①自主的審議	自主的審議事項（継続審議・課題の抽出～テーマ決め～課題解決に向けた検討等） ※令和5年度以降に解決を図るもの					
	自主的審議事項（同上） ※令和4年度内での取組内容の取りまとめ等を図るもの					
地域を元気にするために必要な提案事業	自主的審議の進捗に応じて 事業提案に向けた検討（地域協・地域団体・市）→提案 [市] 提案内容の審査～予算要求～議決				[地域] 取組着手	[市] 事業実施
意見書の提出	意見書の内容の検討 → 意見書提出 [市] 対応検討～予算要求(必要に応じて)～議決				[市] 事業実施	
地域内で課題解決	地域団体等への働きかけ [地域] 課題解決に向けた取組に着手					
②地域活性化の方向性の作成	パターン① [市] 作成に着手 ※自主的審議の状況を踏まえて、令和4年度中に作成に着手、完了期限は設けない パターン② 作成依頼 作成に着手 ※自主的審議と並行して作成した方が効率的な場合、9月末を目途に作成					

※その他、通年適時の事業として、諮問・答申や委員研修の実施、地域協議会だよりの発行等があります。

【凡例】

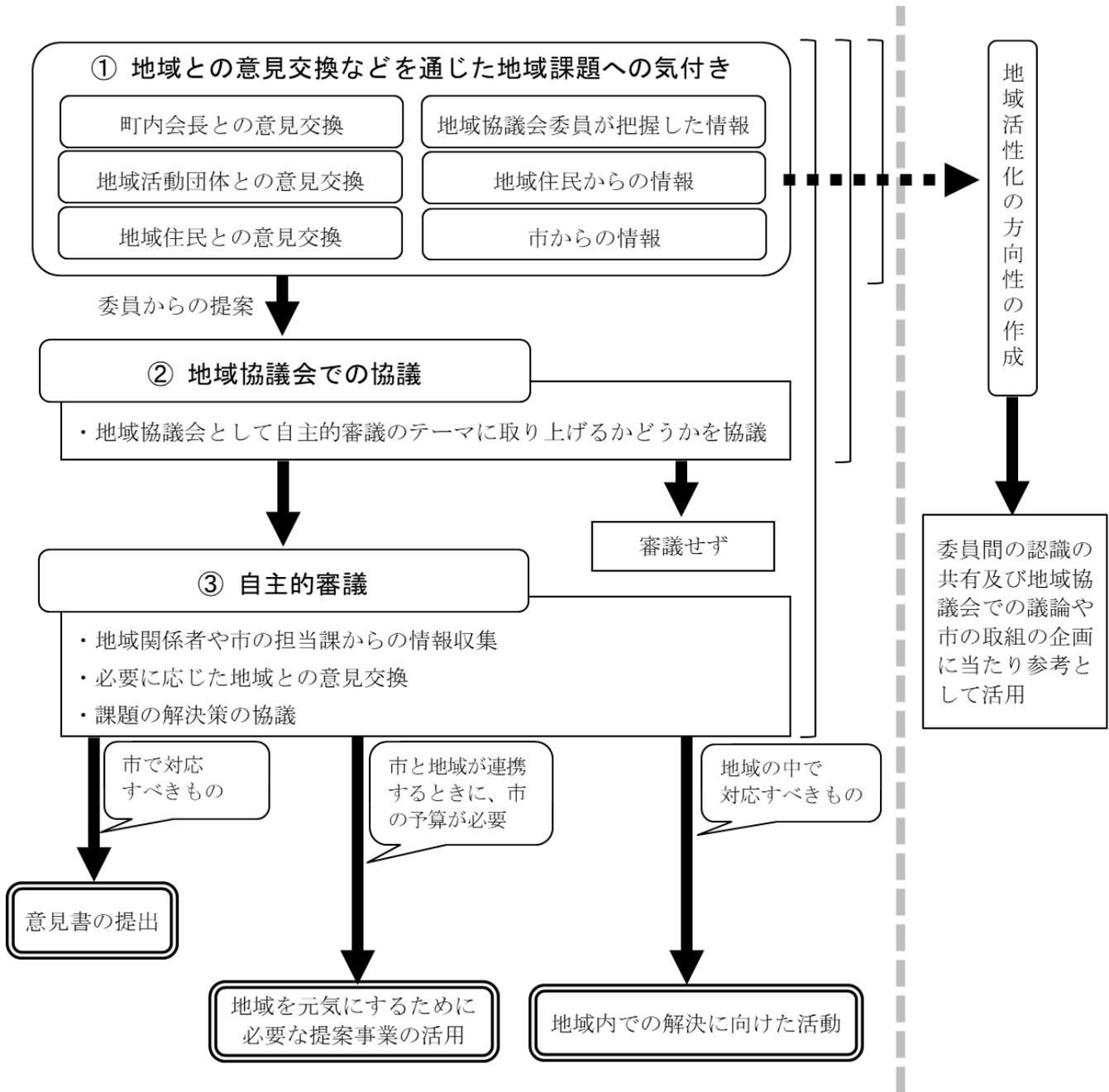
- 地域協議会
- 地域団体等
- 市

【参考】市で取り組むこと

「地域独自の予算（予算要求の仕組み）」は、市が令和4年度中に制度設計を行います

年度	令和4年度				令和5年度	令和6年度以降
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
地域独自の予算（予算要求の仕組み）	[市] 庁内検討	意見交換と合意形成（地域協、住民組織、地域団体等）		[市] 制度確定	[市] 地域と事業検討・R6予算編成	[市]・[地域] 事業実施
			※地域、市の検討状況によっては12月補正等へ前倒し		[地域] 事業検討	

令和 4 年度の自主的審議の流れ



「地域を元気にするために必要な提案事業（元気事業）」の手順例

自主的審議を進めた中で、地域団体等（取組を実施する団体）の参画により課題の解決を図ろうとした時、地域協議会だけではなく、市の協力も必要となる事柄（人材面、資金面、制度の運用面など）が想定される場合、「元気事業」の提案に向けた協議を開始する。

元気事業の条件、意見書との違い

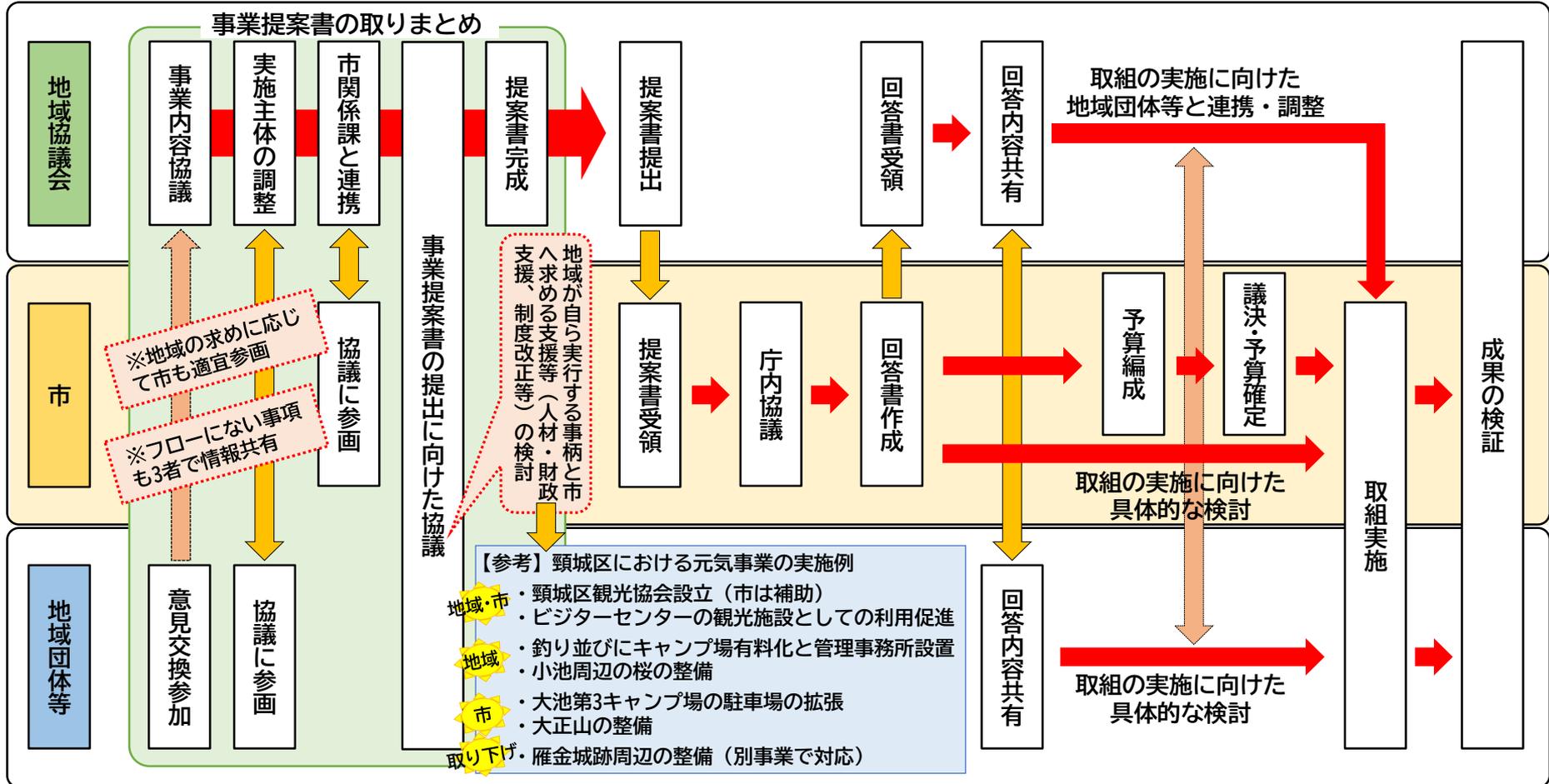
- ☆地域住民や地域団体等との意見交換を通じて把握した課題への対応であること → 協議会のみで検討された課題は原則対象外
- ☆地域団体等が主体的に取り組む事業であること → 市だけに事業を依頼するものは意見書
- ☆事業提案に向けた検討の段階から、市が協議に加わる → 市が加わることで、提案事業の実現性、実効性を高める

当年度>>>>

(9月目途)

翌年度以降>>>

事業提案書の取りまとめ





地域を元気にするために必要な提案事業
事業提案書

当地域協議会では、平成28年2月に頸城区総合事務所と共催をして、区内5か所で「地区別意見交換会」を開催してきました。この意見交換会は、各地域の抱える課題について相互理解を深め、課題を解決するために住民の皆さんと行政等が各々の立場でどう取り組むか、どう連携していくべきか等について、住民の皆さんと語り合い「地域課題への気づきの場」としてきたものであります。

意見交換会には、110名からの住民の皆さんの参加があり、70項目からの広範囲にわたる地域課題が意見として寄せられました。

これらの地域からの意見を受け、地域協議会では、当協議会内に設けてある「地域振興部会」「産業部会」「教育福祉部会」の3部会で協議を進め、自主的審議事項のテーマ設定に向けた絞り込みを進めてまいりました。

協議の結果、「地区別意見交換会」のいずれの会場でも出ていたご意見の、「大池・小池周辺を総称する“大池いこいの森”が、にいがた景勝100選や新潟県森林浴の森100選にも選ばれた歴史的にも素晴らしい景勝地であるにも関わらず、観光資源としての利活用が不十分ではないか」という指摘に応えるため、平成29年11月「大池・小池の観光資源としての利活用について」を自主的審議事項のテーマとして取り上げることに決定しました。

また、この自主的審議を進めるなかで住民との意見交換会や現地調査・市の担当者からの情報収集なども踏まえ、この度、「大池・小池の観光資源としての利活用について」を具現化する事業概要を取りまとめたところであります。

つきましては、当該事業を「地域を元気にするために必要な提案事業」として提案いたしますので、ご支援、ご指導をお願いいたします。

◎事業概要 別紙のとおり

◎市への具体的なお願い事項

- ・各事業実施にあたって、市担当課の主体的な取組みと支援
- ・「大池・小池の観光資源としての利活用について」の事業のために必要な運営費及び事業費の補助





平成30年10月19日

頸城区地域協議会

会長 井部 辰男

上越市長 村山 秀幸 様

Faint, illegible text in the header area, possibly a preface or introductory paragraph.

Main body of faint, illegible text, likely the primary message or report.

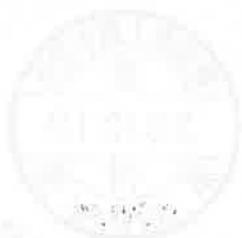
Right-aligned text, possibly a signature or date.

Right-aligned text, possibly a signature or date.

Centered text, possibly a signature or date.

Centered text, possibly a signature or date.

Right-aligned text, possibly a signature or date.



事業概要書

事業名	大池・小池の観光資源としての利活用事業
事業の目的	<p>頸城区には風光明媚な大池・小池という歴史的にもすばらしい自然観光資源がある。しかし、十分な利活用がなされていない。頸城区の観光振興を通じた活性化等を図る観点から、大池・小池の施設の周辺整備を進める。</p>
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 ビジターセンターの観光施設としての利用促進 大池・小池を地域の宝として活用すべく、ビジターセンターの観光施設としての利用促進を行う。 2 大池第3キャンプ場の駐車場の拡張 大池第3キャンプ場をより使いやすい施設とするため、周囲の自然環境に配慮した駐車場の拡張を行う。 3 小池周辺の桜の整備 市内でも有数な八重桜の名所として、八重桜まつりの開催も視野に、小池周辺の桜の整備のほか周辺全体の維持管理を行う。 4 大池・小池の釣り、並びにキャンプ場利用の有料化と管理事務所の設置 大池・小池の利活用として釣りの再開、並びにキャンプ場の有効利用としての有料化を進めるとともに維持管理のための管理事務所を設置する。 5 大正山の整備 展望広場の整備、進入路・散策道の整備、通路転落防止柵の設置、駐車場の整備、眺望等（立木）の整備を行う。 6 雁金城跡周辺の整備 雁金城跡来訪者の安全確保のため、危険個所の整備を行う。

各地域協議会による「地域活性化の方向性」の作成について（お願い）

1 「地域活性化の方向性」の作成目的

地域協議会による地域の活力向上に向けた議論を進めるに当たり、委員間の認識の共有はもとより、地域協議会と市の認識の共有を図るとともに、市の取組の企画の参考としたいことから、地域において特に重視したいこと、大切にしたいことを、各地域協議会において「地域活性化の方向性」として作成するもの

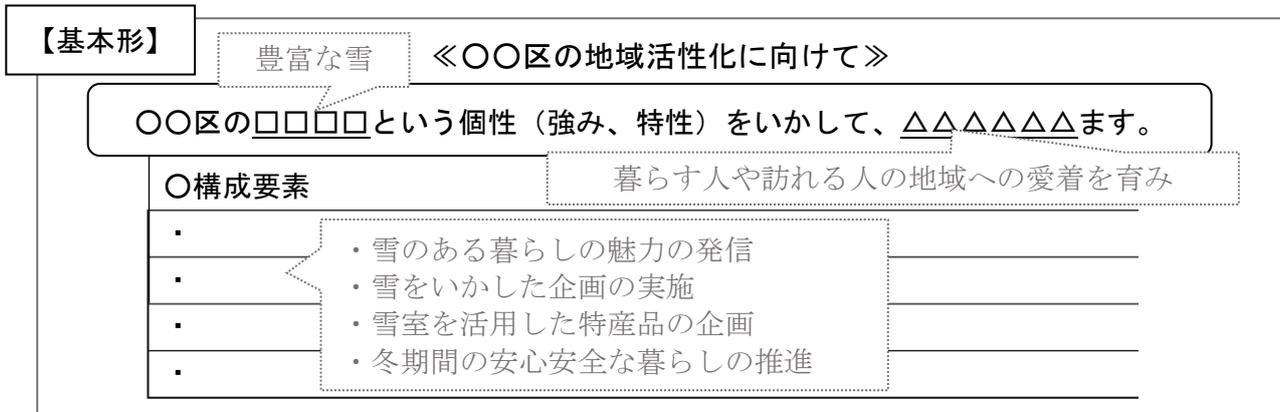
- ◎用途 (1)自主的審議、元気事業、意見書、地域への働きかけの取組における、各地域協議会及び総合事務所、まちづくりセンターの共通認識
(2)市の取組の企画の参考とする考え方
- ◎作成主体 各地域協議会

2 「地域活性化の方向性」の作成の着手時期

各地域協議会において、令和4年度に地域活性化の方向性の作成を始めるようお願いします。

3 「地域活性化の方向性」の内容

- ・幅広い分野（地域資源・産業・観光・農業・自然・風土等）の中から、各区の個性や特性をいかすことで、地域の活性化につなげるもの。
 - ・地域の課題解消や現在の状態をさらに良くすることで、地域の活性化につながるもの。
 - ・方向性の構成要素は、おおむね1～5つ程度で作成願います。
- ※全区で作成し、市民からも見ていただくため、一定の分かりやすさを必要とすることから、構成、書きぶりについて、下記の基本形に沿って作成願います。



4 「地域活性化の方向性」の作成後の取扱い

- (1) 各地域協議会の自主的審議のテーマの選定、元気事業や意見書の内容等を制限するものとはしません。
- (2) 他の団体等が作成した既存の地域の計画等（まちづくり計画、農業振興に関する計画等）を妨げるものとはしません。※協力して取り組むことで互いが良い方向に進める事項については、積極的な連携を考えていくことが想定されます。
- (3) 地域協議会による作成とするため、市全体の方針や考え方と異なる方向性（構成要素含む）の作成も可能ですが、そのような内容とする場合は、市の一体性の確保や公益性との間で整合を図ることができないことから、その方向性に基づく取組を市が行うことは困難です。

5 「地域活性化の方向性」の作成手順 ※令和4年度に次の①②を開始

- ①各事務局から地域協議会へ作成を依頼
- ②各地域協議会で作成（例：2～4回（アイデア出し1～2回、話し合い1～2回、まとめ1回など）。会議の後半の時間などを使って）
- ③完成

【春日区】

配分額(A)	超過額(B-A)	消化率(B/A)	事業費の合計	15,483千円
10,700千円	3,690千円	134%	補助希望額の合計	14,390千円 (B)

(単位：千円)

事業番号	事業名	団体名	事業内容の概要	事業費等	
				事業費	補助希望額
春-1	グラウンド・ゴルフで地域の活性化を図る事業	藤新田寿会	グラウンド・ゴルフを通じた健康寿命の増進と世代間交流の促進を図るため、プレーに必要な用具を整備し、他町内との交流やミニ競技会の開催に取り組む。	158	130
春-2	地域への愛着「春日愛」の育成事業	春日地域青少年育成会議	春日地区の中学生の地域への愛着を育み、併せて地域の一員としての連帯感や帰属感を高めるため、「春日愛」を合言葉に衣装を統一し、春日山城跡の保全活動や謙信公祭に参加する。	591	561
春-3	御館リバーサイド環境美化事業	大豆町内会	地域の環境美化と住民同士が支え合う機運の醸成を図るとともに、観光地としての魅力を向上させるため、花壇の植栽や御館川周辺の環境整備に取り組む。	219	167
春-4	高齢者の健康づくり活動(まちづくり)と地域交流事業	いきいき春日野	高齢者の健康意識の向上や交流の場の創出を図るとともに、地域の青少年等との交流を通じたまちづくり活動につなげるため、健康づくり教室やふれあいコンサートを開催する。	300	300
春-5	上杉軍出陣式維持保存事業	一義会	上杉謙信公と春日山城跡をPRすることにより地域力の向上を図るため、イベントで使用する音響機材を整備し、出陣式の維持保存と効果的なPR活動に取り組む。	384	380
春-6	中門前3丁目・避難訓練継続事業	中門前3丁目 助っ人隊	地域の防災力向上を図るため、災害発生時の避難・誘導に必要な資器材を整備し、要支援者を含めた住民の避難・誘導訓練を実施する。	585	545
春-7	安全に安心して暮らせるまちづくり事業(防犯パトロール実施事業)	上越市春日山町3丁目町内会	地域の防犯・防火対策や環境美化を目的に、春日山町1.2.3丁目町内会が防犯パトロールを実施するとともに、活動に必要なのぼり旗を揃える。	294	293
春-8	春日山城跡環境整備(春日山城跡周辺環境整備)事業	春日山城跡保存整備促進協議会	春日山城跡の復元・整備の促進と、来訪者への魅力発信の充実を図るため、雑木の伐採や案内看板の整備に取り組むほか、春日山城跡の保存整備のあり方を考える講演会等を開催する。	2,305	2,200
春-9	春日山モルツ ミニバスケットボールクラブ事業	春日山モルツ	ミニバスケットボールを通じた青少年の健全育成を図るため、参加者の遠征や物品購入等を支援し、練習しやすい環境を整える。	770	769
春-10	高志地域ふれあいネットワーク事業	高志小学校後援会	地域住民が、学校と連携して教育活動に携わり、子どもの健全育成を図るため、高志小学校中庭に児童と住民の活動・交流拠点を整備し、昔の遊びやものづくり体験会、学習発表会などを開催する。	295	280
春-11	春日区の交通事故減少のための交通安全意識の啓発と交差点路面表示の修繕事業	上越交通安全協会春日支部	交通事故の防止はもとより、ドライバーや歩行者の交通事故防止の意識向上を図るため、交通安全推進のための各種活動と交差点路面標示の修繕に取り組む。	550	550

事業番号	事業名	団体名	事業内容の概要	事業費等	
				事業費	補助希望額
春-12	中学生の音楽による地域の絆づくり支援事業	春日中学校後援会	音楽交流活動を通じた子どもの健全育成やまちづくりへの寄与を図るため、活動に必要な楽器整備を行うとともに、地域住民を対象としたイベントや謙信公祭などで演奏活動を行う。	3,386	3,385
春-13	越後謙信きき酒マラソン事業	上越商工会議所青年部	春日山地域の認知度向上や新たな層の観光客誘致につなげるとともに、地元の人が地域の魅力を再認識し、誇りを持つ契機とするため、春日山城跡や周辺の名所旧跡を巡るマラソン大会(ファンラン)を開催する。	1,540	1,000
春-14	土橋こども育成事業	土橋町内会 子ども会	子ども会活動を通じた児童の健全育成や、転入者とのつながりを強化するため、子ども会の法被を更新・拡充し、謙信公祭をはじめとした各種行事に参加する。	392	288
春-15	小学生の金管楽器演奏による地域の絆づくり支援事業	上越市立春日小学校後援会	音楽交流活動を通じた子どもの健全育成やまちづくりへの寄与を目的に、活動に必要な楽器整備を行うとともに、謙信公祭音楽フェスティバルでの演奏活動などを行う。	790	770
春-16	春日野デュークス幼年野球育成事業	春日野デュークス	幼年野球を通じた青少年の健全育成を図るため、必要な用具の更新等を支援し、練習や大会に参加しやすい環境を整える。	220	219
春-17	春日野少年野球育成事業	春日野少年野球	少年野球を通じた青少年の健全育成を図るため、必要な用具の更新等を支援し、練習や大会に参加しやすい環境を整える。	163	162
春-18	春日区幼年野球育成事業	高志ビクトリーズ	幼年野球を通じた青少年の健全育成を図るため、必要な用具の更新を支援し、練習や大会に参加しやすい環境を整える。	429	428
春-19	大学前町内会自主防災活動推進事業	大学前町内会	自主防災体制の高度化を図るため、防災用機材を整備し、要支援者の避難支援の実践訓練を行うほか、市の関係課と災害時の連携について協議を行う。	416	400
春-20	高志小学校区 少年野球育成事業	高志少年野球	少年野球を通じた青少年の健全育成を図るため、必要な用具の更新等を支援し、練習や大会に参加しやすい環境を整える。	189	162
春-21	謎解き 上杉謙信公の仕掛けた謎を解説せよ！事業	春日商工振興会	コロナ禍に対応した春日山地域への誘客促進を図るため、春日山城跡周辺に出題パネルを設置し、スマートフォンとQRコードを活用した非接触式のクイズラリーを開催する。	1,038	1,000
春-22	春日地区 地域子育て支え合い事業	食育サークル mamma	育児中の母親の孤立を防ぎ、地域で子育てを支援する機運を醸成するため、離乳食・幼児食づくり教室を開催し、あわせて情報交換や交流の場の創出に取り組む。	106	83
春-23	春日区若者活性化事業	上越若者みらい会議	地域に愛着を持つ若者の増加や、今後の活動の担い手の育成につなげるため、若者を対象としたスポーツ交流会を継続的に開催するほか、スカイランタン打ち上げイベントの開催に取り組む。	363	318